

自治基本条例制定 1 周年

まち育新聞

第 4 号

〈発行所〉
総務部政策財務グループ
政策担当
美幌町字東2条北2丁目
Tel 73-1111

記念事業を開催

まちの憲法とも言われる「自治基本条例」が平成 23 年 4 月 1 日に施行され 1 年が経過しました。その間、パ
ンフレットの配布や、まち育講座の開催等により町民の皆さんに内容をお知ら
せしてきましたが、さらに多くの皆さんにこの条例の内容や意義などについて
知っていただくために、1 周年記念事業を開催します。

「奇跡体験アンビリバボー」で再現ドラマ化

はま みや さとし

10 月 21 日 濱宮 郷詞 氏が講演

この条例には、美幌町を
より良いまちにするため
の考え方やルールが書か
れています。

まちづくりの主役はも
ろろん町民の皆さんです。
しかし、すべてのことを皆
さんでやるには限界があ
るため、選挙で議員や町長
を選び、まちづくりの一部
を議会や行政(役場)に信
託(信用してまかせるこ
と)しています。

これからは、信託してい
る部分に今以上に町
民の皆さんが主体的に関
わり、町民と議会、行政が



〈長男への手紙〉

おまえはえらいよ・・・ 一年間よく頑張ったなあ・・・
お腹が痛くても・・・ 頭が痛くても・・・ 熱があっても・・・
「オレ、幼稚園行く！」って。頼もしいよ。お前の姿・・・ 格好いい
よ。お前のすべてが・・・ 泣かせるなよ・・・
未熟児で産まれて、呼吸も出来なかったくせに・・・
三ヶ月も保育器に入ってたくせに・・・
昨日、パパは言われたよ。パパがボランティアの人と病院へ出かける時
「お父さんをよろしくお願いします！」って、お前がボランティアの人
に叫んだよな。
そしたら・・・ 「良いしつけをしてるね」って。
パパはしつけないんじゃないよな。おまえが勝手に挨拶したんだよな。
5歳のくせに・・・ おまえはえらいよ・・・
大きくなったら・・・ ママを守ってやるんだぞ。頼んだよ。
いろいろありがとうなっ！ これからも家族という仲間と一緒に頑張ろ
うな！
あなたの根性と2人の妹の存在、そしてママの努力に敬意を表します。
パパより

妻と出会い、結婚。100
0g、1200g、150
0gの3つ子が生まれ、重
度障がい者で父親、育児。
子ども達は未熟児の為眼
が・・・。そんな不安と戦
いながら、精一杯、仕事、
子育てに励んでいます。現
在は、サラリーマンのかた
わら全国各地で講演活動
を行っています。

幾多の困難も「僕の人生
面白いですよ」の一言で笑
い飛ばす。「涙、笑、心」
ありの講演会は10月21日
(日)に美幌町民会館「び
ほーる」で開催します。

■開場 午後1時
■開演 午後1時30分

※入場は無料ですが、混雑
が予想されるため入場整
理券を発行委員会事務局
でお配りしていますので、
お求めください。また、当
日は託児所を用意いたし
ますので、ご希望の方は10
月15日までに同事務局ま
でご連絡ください。

◆主催 美幌町自治基本条例
1周年記念事業実行委員会
◆後援 美幌町
◆協賛 美幌町社会福祉
協議会、美幌地域包括支
援センター

◆実行委員会事務局(役場
政策担当) Tel 73-1111
(内線 223 後藤・大内)

サッポログループと協定

町は7月30日にサッポ
ロホールディングス(株)
及びサッポロビール(株)
と地域連携協定を締結し
ました。
この協定はサッポログ
ループと環境保全や観光
など幅広い分野において
相互に協力・連携してま
ちづくりを進めることを
目的としています。

応募期間

10/5(金)まで

びほろ いいとま・いいひと

携帯電話からもOK

フォトコンテストを開催します

美幌町の景色、名所、イベントや人々の生活風景、素敵な笑顔など、あなたが感じる美幌町の魅力を撮影し、
ステキなタイトルをつけてご応募ください。 とっておきの1枚をお待ちしています。

応募要項

部 門
1 風景の部 (美幌町の景観、観光資源、各種イベント・活動など)
2 人物の部 (子どもやおじいちゃん・おばあちゃんの笑顔、頑張っている姿など)

応募資格
・美幌町に住所を有する方 ・町外から働きに来ている方、または学校に通っている方 (年齢、性別、国籍は問いません。)

応募方法
1 写真を直接提出 実行委員会事務局(役場政策担当)に持参ください。
2 インターネットからの提出 美幌町のホームページにアクセスして応募ください。
3 Eメールに写真データを添付して送信 ・送信先: machiiku@town.bihoro.hokkaido.jp ・件名に氏名を記載 ・本文にペンネームとタイトルを記載 ※氏名を公表して差し支えない場合はペンネーム不要です。

↓ スマホは
ここから

↓ 携帯電話は
ここから

表 彰

- ・最優秀賞 各部門1点【スマッピーカード1万円分チャージ+副賞】
- ・優秀賞 各部門2点【スマッピーカード5千円分チャージ+副賞】
- ・佳作 各部 数点【スマッピーカード2千円分チャージ+副賞】
- ・参加賞 応募者の中から抽選で30名 【500円相当金券】
※副賞は、サッポロビール(株)様、美幌観光物産協会様よりご提供いただきます。

審査・発表

- ・主催者側で審査を行います。
- ・発表は10月21日(日)「びほーる」で開催の「濱宮郷詞 講演会」の前段に行います。また、町ホームページやまち育新聞などでも公表します。

注意事項

- ・過去にコンテスト等で入賞、入選された作品は応募できません。
- ・応募いただいた写真を使用する権利は主催者側に帰属し、広報活動等に使用します。
- ・被写体の肖像権、著作権には十分御注意ください。
- ・撮影に關しての起因する事故一切のトラブルさらに応募作品の送付の際等に起こった事故に關しては主催者側は一切責任を負いません。

問い合わせ先

実行委員会事務局 役場政策担当 Tel 73-1111 (内線 223 後藤・大内)

健康づくりの基本的な考え方 (ヘルスプロモーション)

ヘルスプロモーションとは、WHO（世界保健機構）が提唱した新しい健康観に基づく21世紀の健康戦略で、健康を自分自身でコントロールできるように町民一人ひとりの意識を高めること、またそのために健康を支援する様々な環境を整備していくことをいいます。

このヘルスプロモーションの考え方を例えると、人生の一生を坂道ととらえ、一步一步「球」を押し上げ登っていきます。

そのためには、自ら登る力をつけ、家族や地域がサポートをし、また、坂を登りやすくするために角度を低くする「運動しやすい施設や環境の整備」、「職場単位の禁煙・分煙の推進」などの環境づくりが重要です。（下図参照）

ヘルスプロモーションの考え方



特集

美幌町第Ⅱ期（平成25年～29年度） 健康増進計画策定中

今回の特集は、健康増進計画のお話です。健康増進計画とは、健康増進の計画は、国の健康増進法に基づき策定するもので、国では「健康日本21」、北海道では「すこやか北海道21」を策定しており、その美幌町版となりま

今年度は、第一期の最終年度にあたるため、各団体を代表する健康増進計画推進委員会やヘルスリーダーとの意見交換により、第一期計画の進捗状況や目標達成状況の確認を行い、第二期計画を策定しています。

この計画は乳幼児期、学齢期、成人期、高齢期の世代別に、栄養、運動、休養・こころの健康、歯と口腔、たばこ、アルコールの6つの領域毎に目標値を定め、目標達成のために行政が取り組むこと、地域や職場で取り組むこと、計画に盛り込みたいことを

支え合う、あなたとわたしの健康づくり

現在計画の策定にあたり、ヘルスリーダーとアンケート結果の分析や、健康課題の背景、対策に関する意見交換会を行っており、5月、9月、12月、2月に行う推進委員会でも策定します。

これまで開催した推進委員会や意見交換会の中で、「健康寿命が延び元気になる高齢者が増えている」、「成人期女性の喫煙率が全国に比べて高い」、「肺炎による死亡率が高い」、「40代は野菜の摂取が少

サービスにヘルスリーダーが参画して健康に配慮した食事メニューを提案してはどうか」、「野菜の摂取増にむけて関係団体とヘルスリーダーが一緒に食育に取り組んではどうか」等、協働した取り組みに関する意見も多く、意見を推進委員会で検討していく予定です。

今後、美幌町の健康増進計画が、多くの町民の皆さまの間で話し合われることを目指し、健康課題や計画策定の経過を健康教育やまち育講座等を通じ、お伝えしていきます。

詳しくは健康増進担当「高齢者の生きがいデイ」まで（内線286・287）

健康増進計画推進委員会とは、美幌医師会、美幌歯科医師会、美幌町老人クラブ連合会、美幌町自治会連合会、JAびほろ女性部、美幌商工会議所、美幌町ヘルスリーダーの会、住民代表、北見保健所で構成されており、オプザバードとして美幌町国保病院の医師が参画しています。

ヘルスリーダーとは、自らの健康に関心をもち、健康的な生活習慣を実践するとともに、地域における健康づくりのリーダーとして主体的に取り組んでいます。養成講座終了者は76名に達しています。

今回は 民生委員・児童委員 の活動をご紹介します

広げよう 地域に根ざした 思いやり

民生委員・児童委員は、厚生労働大臣から委嘱され、地域の中で相談や支援を行うボランティアです。地域の誰もが幸せで安心した生活をおくることのできるよう応援しています。

民生・児童委員の活動は地域の皆さんとの信頼関係がなくては成り立ちません。

民生委員・児童委員同士の連携や情報交換も不可欠で毎月の定例会では、さまざまな事例検討をしています。



の 旅 ④

やくばのしごと

健康推進 担当

町民の健康づくりを主な仕事としているのが、健康推進担当です。

妊娠期からの相談や教室、赤ちゃん訪問、予防接種、乳幼児健診といった母子保健活動、特定健診やがん検診、脳ドックなどの検診や個別健康相談、集団健康教育等の生活習慣病の予防活動、しゃきつとプラザや地域の会館を会場とした転倒予防教室や筋力向上教室等の介護予防事業の他、栄養士によるヘルスリーダーの育成支援、心の健康相談など世代を問わず、様々な健康づくり活動の推進を担当しています。

また、運動するきっかけとなるよう、新たな健康運動の教室を企画実施しています。

お悩みがありましたら ご相談ください

- ▽在宅生活に関すること
- ▽暮らしのこと
- ▽家族関係のこと
- ▽育児・教育のこと
- ▽その他の困りごと

もちろん個人の秘密はまもり、また、地域を担当する民生・児童委員にお気軽にご相談ください。

この青い門標が目印です。

お住いの地域の民生・児童委員の氏名、連絡先など、詳しくは役場民生担当へお問い合わせください。TEL 73・1111（内線236・237）



保健師は、地区担当制としており、継続して皆さまのご相談に対応できる体制としておりますので、お悩みなどありましたらお気軽にご相談ください。（窓口はしゃきつとプラザ2階です。）